

1. 基本計画の位置付け

本計画は、スキー場における設備老朽化等の課題や、今後におけるスキー場の役割について、機能構成や配置計画等、再編整備へ向けた構想に対しての具体的な基本計画案の策定を目的とします。

本計画は、スキー場が抱える課題を解消するため、整備の基本理念や基本方針、運用にあたって備える機能などを具体的に示し、今後、基本設計や実施設計を行う際の基礎的な内容を示すものとして策定するものです。

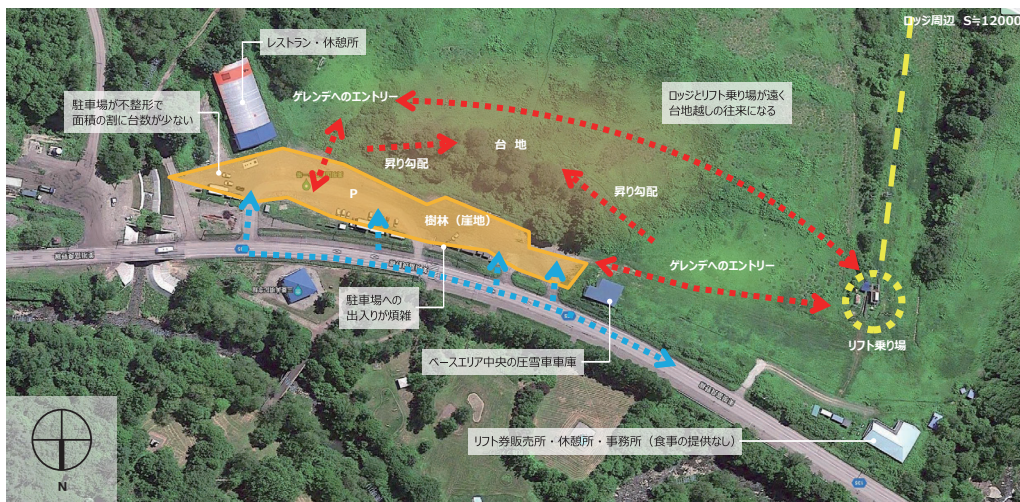
2. 現状の施設概要

- 所在地 美唄市字美唄 2054 番 -1 (東美唄町番町)
- 敷地面積 134,700 m² (駐車場 250 台収容可能)
- 借地先 三菱マテリアル株式会社 (土地賃貸借契約：17,827 m²)
- リフト
 - ・平成 5 年 新設 ペアリフト 1 基 (延長 711m) 支柱 14 基 搬器 89 基
 - ・平成 6 年 新設 Jバーリフト 1 基 (延長 398m) →平成 16 年 休止
 - ・昭和 56 年 新設 簡易リフト 1 基 (延長 262m) →平成 19 年 設備撤去
- コース 6 コース (標高差 185 メートル、トップ 321m/ ベース 136m)

3. スキー場の現状の課題

- (1) 初心者の練習エリアの不足
- (2) 施設・設備の老朽化と輸送能力等の拡大
- (3) 駐車場の不足
- (4) 利用者動線の整理の必要

スキー場の整備が必要



4. スキー場の利用者の声

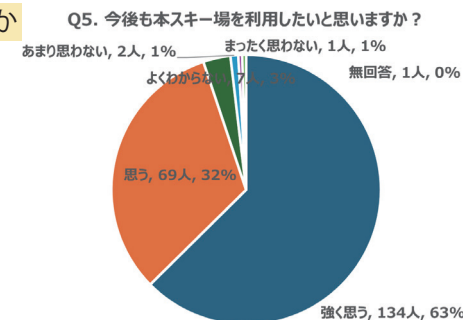
基本方針策定にあたり、利用者の声を反映するため、アンケート調査を実施しました。

○ アンケート調査結果 (回答数 214 件)

今後も本スキー場を利用したいと思いますか

「強く思う」「思う」を合わせて 95% に達しています。

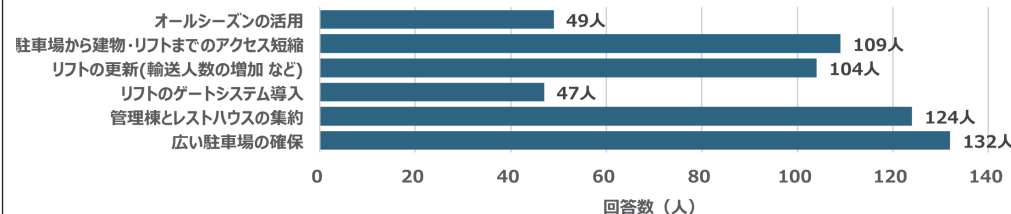
「初めて訪れた」と答えた方の少なくとも 7 割以上が「また来たい」と思っていることになり、来場者数の拡大につながる可能性があります。



本スキー場のリニューアルにあたり、あなたが求めるものは何ですか

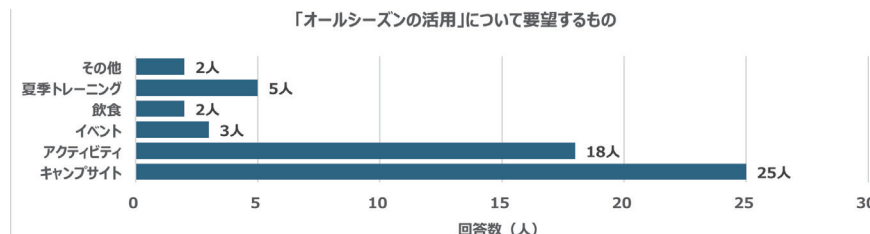
「広い駐車場の確保」「管理棟とレストハウスの集約」「駐車場から建物・リフトまでのアクセス短縮」「リフトの更新」等、現状の課題点への対策がほぼそのまま求められています。

Q6. 本スキー場のリニューアルにあたり、あなたが求めるものは何ですか？ (複数回答可)



「オールシーズンの活用」について要望するもの

キャンプ、MTB、トレッキング等のアウトドアアクティビティの要望が多く上がっています。



5. 必要とされるリニューアルの内容

コンセプト	魅力あるスキー場再整備を図るため、①リフト ②センターハウス ③駐車場に関する事項を検討し、市内外問わずファミリー層から競技者まで、それぞれが楽しめるスキー場に発展させる。
ターゲット	ファミリー層、初心者、競技者、コア層
重点ポイント	①リフト →輸送能力アップ（2人乗又は4人乗の検討） 初心者対応（初心者用の安全な搬送方法への配慮） ②センターハウス→レストハウス及び管理棟の集約による利用者に配慮した 場所の選定 機能を高めた集約配置 ③駐車場 →十分な駐車スペース確保 （センターハウスとの関係や、雪の堆雪場所への配慮）
整備後の展望	・ファミリー層やスキー初心者から上級者まで、幅広く楽しめるスキー場の環境整備 ・スキー教室、スキー大会の開催及び誘致による冬季スポーツの振興、利用者増 ・道道美唄富良野線の開通による富良野方面からの新たな観光スポット ・観光施設として、観光入込客数の増加、交流人口の拡大、地域と経済の活性化等 ・将来は、通年利用で施設の管理運営を自走できる体制づくり

6. スキー場のセンターハウスに求められる機能

スキー場の利用者が快適に過ごすための機能と諸室	1) 受付・インフォメーションカウンター 2) 共有スペース 3) ロッカー等 4) スキー用具等貸出スペース 5) 券売機設置 6) 飲食施設 7) 更衣室とトイレ
スキー場を管理するために必要な機能と諸室（センターハウス内）	1) 会議室 2) パトロール詰所 3) スクール受付窓口 4) 倉庫、食品保管庫（厨房用） 5) 機械室、電気室（MR）
スキー場を管理するために必要な機能と諸室（別建物）	1) 倉庫 2) 圧雪車庫等

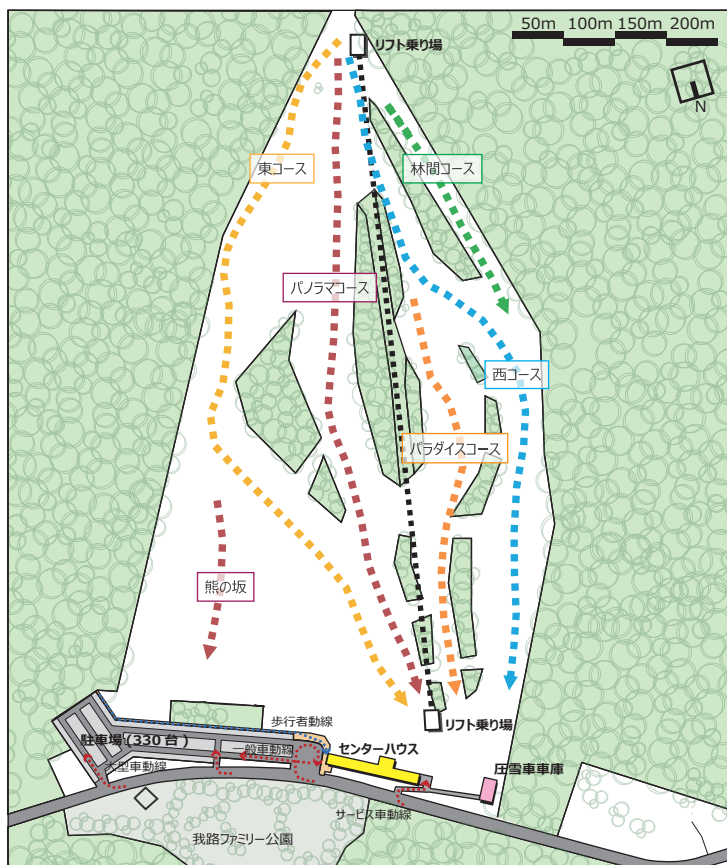
7. 駐車場、諸室の規模設定

駐車場 330 台の根拠
土日の来場者数のピーク時には、最大で1日約400人の利用者があり、車1台当たり1.5人乗車していると想定すると、約270台の駐車スペースが必要となります。
また、スキー場には大会になると関係者（スキー連盟やパトロール隊）の車両が約30台、更にはイベント開催で大型バスを含む約30台の駐車台数が必要となることから、330台という駐車台数を算出しました。

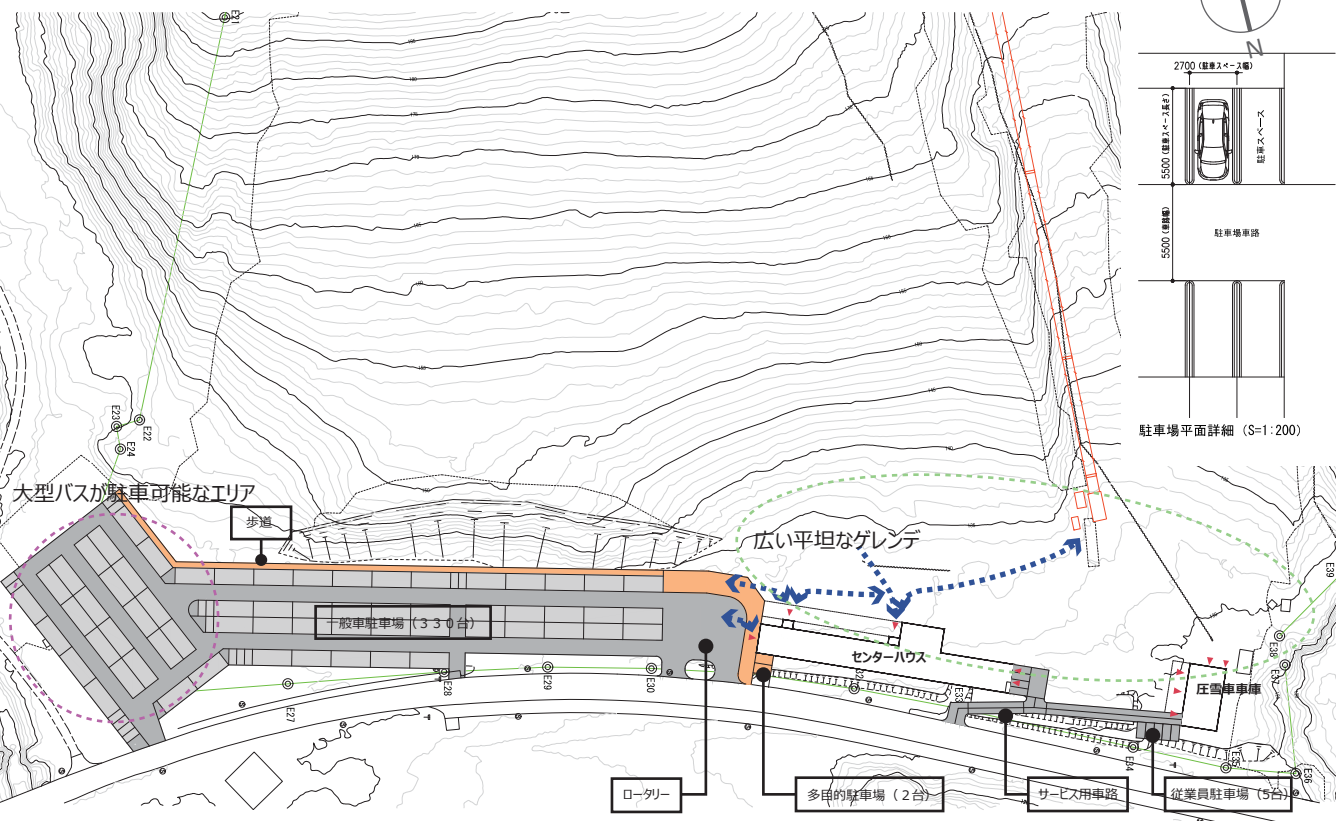
センターハウスの規模設定
現状施設の規模や将来可能な利用者増を参考に、今後規模の検討を行います。

	レイアウト名	室名
1	休憩・セレモニー	
2	厨房	
3	スキー用品貸出スペース	
4	受付（券売機設置）	
5	WC・ロッカー	WC（男子・女子・多目的）
6	（一般利用客専用）	ロッカー等（男子・女子）
7	パトロール	スキーパトロール控室
8	救護	
9	会議室	
10	倉庫	
11	機械室	

8. 全体ゾーニングと動線計画



センターハウス・駐車場の配置イメージ図



9. センターハウスの配置

- ・センターハウスの位置は、ゲレンデを滑り降りてきて最もアプローチしやすい、駐車場に隣接した西側に設けます。できるだけ平坦なゲレンデを残すように、南北方向の寸法を小さく、東西に長い建物形状とします。
- ・建物には利用者の利便性に配慮し、直接ゲレンデから建物に出入りできる入口を各所に設けます。
- ・休憩エリアは、ゲレンデが見渡せる建物中央部に配置します。

10. 駐車場の配置

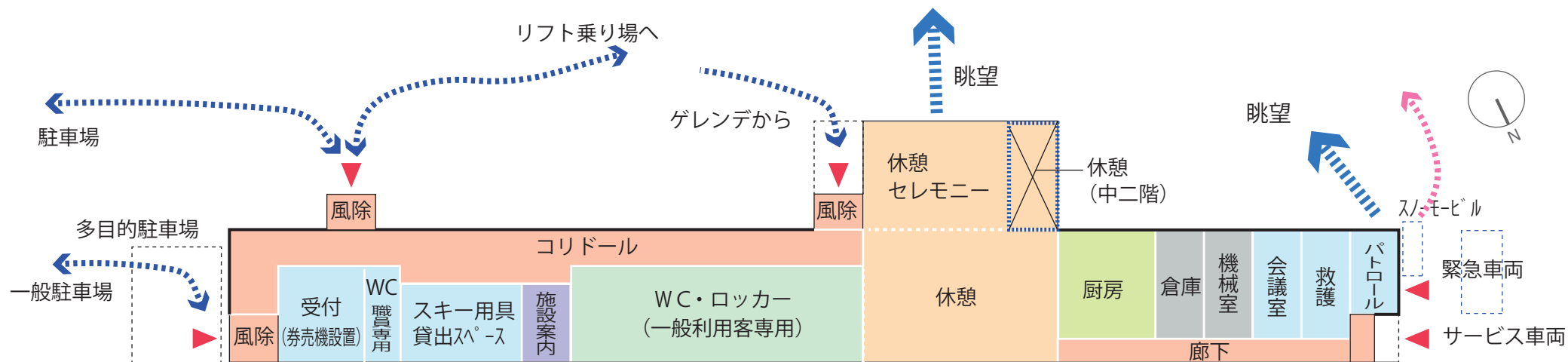
- ・道道美唄富良野先から駐車場への入り口は、ゲレンデの東側、ゲレンデの中央部と西側に3か所設置します。
- ・センターハウスの前には、大型バスの乗り入れが可能なロータリーを設け、団体客やスクール等の利用者の利便性に考慮します。
- ・駐車場のゲレンデサイドに、東西につながる歩道を設け、可能な限り歩車を分離した安全な歩行路を確保します。

11. センターハウスのゾーンニング案

東西に細長い形状の建物になることから、東側の車寄せに近いエリアを、エントランス・受付エリアとし、スキー用具貸し出しスペース、施設案内、トイレなどを配置します。

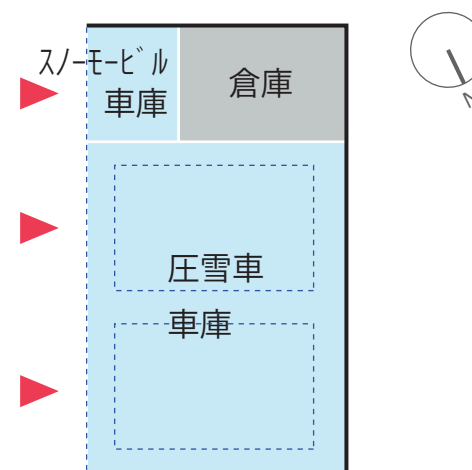
建物の中央部は休憩エリアとし、直接ゲレンデから入れる入口を設けます。

西側エリアはスタッフエリアとし、厨房、パトロール詰所、救護室、会議室、倉庫、機械室を配置し、管理用駐車スペースからアプローチできるようにします。



12. 圧雪車車庫のゾーニング案

圧雪車が2台入庫可能な大きさとして。また、ゲレンデ整備に使用するスノーモービル車の入庫も可能な大きさとして。



13. リフト更新案

	4人乗りリフト案
配置図	
条件	・支柱を含めてリフト全体を新設する(固定式4人乗り)
搬送人数	・現状の搬送人数の約2倍となる (リフト速度2.0m/秒、発車間隔7.0秒/台104台、2,057人/時)
中級者・上級者への対応	・搬送能力がアップするため、十分な本数を滑ることができる
リフトの整備コスト (イニシャル、税別)	・¥850,000,000
参考:自動改札機 (アクセスコントロールシステム)	・¥32,700,000 ・回数券購入等の時間短縮による利用者の利便性向上及び 乗り場受付管理者の配置が改善される
参考:ムービングベルト設置の 場合のコスト(税別)	・¥79,000,000(透明な屋根付き) (本体¥35,000,000、設置¥6,000,000、ギャラリー屋根¥38,000,000)

14. 事業スケジュール

	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
基本設計・実施設計			基本設計・施設実施設計					
駐車場改良・舗装					排水 工事		駐車場工事	
新設リフト建設			リフト設計		リフト機器製作		リフト設置工事	
既存建物解体							解体	
圧雪車庫建設						車庫 新築		
センターハウス建設					センターハウス		センターハウス新築	

15. 概算工事費

概算事業費

実施設計費	0.66億円
工事費	(4人リフトの場合)
	26.00億円
総事業費	26.66億円

財源

補助金(2/3)	17.77億円
過疎債償還額	8.89億円
市の負担額	2.67億円

※市が償還する金額を
15年と想定した場合

1年間の負担は
約0.178億円